

体裁——B5判・A5判・上製本・総一、四八八頁

解題——中西直樹（筑紫女学園大学准教授）

二〇〇九年一〇月刊行

定価——全三巻◎本体単価六〇、〇〇〇円+税

# 仏教海外開教史 資料集成 南米編 全三巻

編集復刻版

近代以降、多くの日本人が海外へと渡航していった。  
出稼ぎ、移民、そして侵略——世界各地、日本人の赴くところには、

必ず仏教伝道の志を懷いた開教師（使）たちがいた。

彼らは、ときに在外邦人の心の灯火となり、外国伝道の拠点を築き、  
海外進出の出先機関としての役割を果たしてきた。

本資料集成は、一昨年から刊行したハワイ編と北米編に続く、南米における  
仏教開教の記録であり、今後弊社ではアジア諸国の資料の復刻を予定している。  
仏教教団の海外開教の現状と歴史を検討するための、必要不可欠な資料集である。

不二出版

# 国境を超えた日本仏教の貴重な記録

大村英昭（関西学院大学教授・大阪大学名誉教授）

■本集成に収録した資料の縮小内容見本（資料名は省略）

「美しい国」だと、かえつて民族主義を助長するような言説も目立ちます。なんと中世以来、「四海のひとはみな兄弟」と高唱してきた日本の「野の仏教」の意義は、高まりこそすれ、低くなることはありますまい。ことに浄土真宗は早くも十九世紀末には国境を超えて、すぐれた先覚者の努力によつて二〇世紀前半中にハワイや北米・西海岸部、そして南米へと多くの拠点を形成することに成功しました。

しかもそれは、一時の「満州」や台湾での開教のように国策に便乗したものではありませんでした。まさに「野の仏教」の本領發揮。貧しい異教徒としての生活を強いられていた人びとに、一筋の光明をもたらすようにして「クニノサカヒ」を超えていったのです。

今回復刻される『仏教海外開教史資料集成』には、この「野の仏教」のおかげで、かの地にあって、やがて貧困からも、国の縛りからも脱却し堂々の国際人となつた人たちの、たゞ苦難に充ちたながい道のりがヴィヴィッドに記されています。私は、たまたま二〇〇四（平成十六）年度「ハワイ開教区特派講師」として、本派本願寺派をはじめ、仏教各派の現況について触れる機会をもつた者ですが、とくに日本語で通じる人たちがほとんどなくなりつつあることに強い印象をもちました。ということは、日本仏教がまさしくグローバライズされつつあるという意味でしようが、それだけに、この『資料集成』は、そこに至るまでの先人のご苦労を記録した貴重な文書であることをも意味しましよう。自信を持つて推薦する理由でもあります。

社会的背景に以上のような芳しからぬ条件が控えているので、すべての努力の中心は、これらの惡条件下からどのようにして脱却するかということである。各宗ともこの点に意をそそいでいる。

## 在伯仏教各宗連合会

【所在地】 RUA SAO JOAQUIN 285 São Paulo  
FONE 31-1959  
【年中行事】 浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、曹洞宗、  
淨土宗、立宗宗、真言宗が加盟しており、逕  
禁会、灌頂会、成道会、追憶法要（6月18日・日本人  
渡航移民記念日）等があり、各宗別院または、公衆会  
場等で毎年盛大な行事を催している。

【会長】 任期1年で、輪番制である。



在伯仏教代表がアデマール大統領を訪ねる。メッセージを渡す。左から新宮（宣）、ゴンザレス（宣）、佐々木（浄土）、石井（日蓮）一人おいて大庭（宣）、森井晋（宣）、市野、楳野（西）。

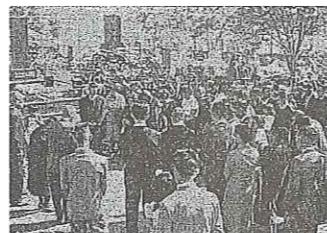
## ＜駅尊顕仰会＞

1967年4月に発足した仏教徒（僧・俗）の会で、在伯仏教各宗連合会の指導のもとに仏教興隆につとめている。

## 浄土真宗本願寺派（西本願寺）

本派本願寺南米教団本部 伯国別院 TEMPLO HONPA HONGWANJI DO BRASIL RUA CHANGUA,  
108 - C. POSTAL, 12.989 (VILA SAUDE) SÃO PAULO BRASIL

【南米教団の沿革】 1968年はブラジル移民60周年に当る。ブラジル国には総じて西欧の人が多いといえ、北海道、福島県人は相当数に上っている。このような事情から、浄土真宗の信徒が最も多い。移民初期には特別厚



サンパウロの日系人墓地



伯國佛教馬信功勞者名鑑發刊に寄せて

サクヤヨリオ支那書翰會

# 仏教海外開教史—移民史の新たなフィールド

坂口 满宏（京都女子大学教授）

■南北アメリカの仏教の内容見本を縮小したものである。

シアトルの日本人移民社会を調べていた頃、しばしば本願寺派の別院に泊めてもらい、開教使の先生に誘われるまま、日曜日の礼拝にも参列させてもらった。午前の部は日本語で、午後のそれは英語でなされていて。話には聞いていたが、実際にそうした場を目の当たりにしたとき、カルチャーショックを感じた。そしてその衝撃は、移民の歴史と文化交流の意義を考えるときの確信となり、その思いは、ハイウェイやカナダのお寺を訪ねるたびに強くなつていった。

日本に帰り、海を越えた日本仏教の足跡についても調べておかなくてはと思い、一つ二つと古書の収集を始めたが、思いのほかその作業は進まなかつた。それだけに『仏教海外開教史資料集成』の刊行は、朗報である。真宗派のみならず、浄土宗、曹洞宗、日蓮宗、真言宗など諸宗派の主要文献を一度手にすることができるからである。

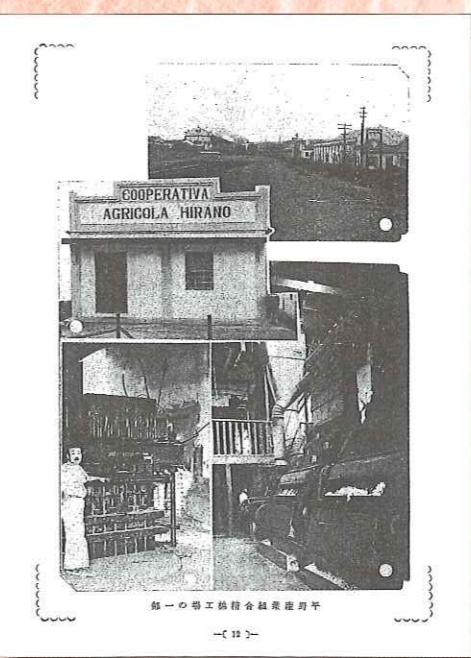
この『資料集成』の刊行を機に、「仏教東漸」という使命の実現にむけた開教使たちの苦闘も見直されいくことだろう。そして日曜学校や日本語学校の運営に果たした寺院の役割、移民社会における在家人の存在など、日本人移民研究の新たな拡がりが予感される。

第一章 移民の素質  
漂浪生活に呻吟やう……青年家庭の自殺……軽々しく行く處でない；  
移民の職業調査……純農者證明書の社撰……大新聞記者の虚偽報告  
……非農者渡航の悲哀……單獨渡航青年の末路……素質選定の方法；  
……非農者にも青年にも成功談はある……純農者必しも成功せず……  
純農者の定義

（日本文庫編著）

第一回 田舎の「もんてびでお」 第二十一回 墓室暗い、角窓の下にて。  
（日本文庫編著）

## うかつに行けない南米



第一の帶工株組合組合本部

■本集成に収録した資料の縮小内容見本（資料名は省略）



-[ 6 ]-



序文	高崎米峰
著者	太田義一
見開	松宮石丈
解説	美濃義一

松宮石丈を語る

松宮石丈の書籍

松宮石丈の著書

中	考
解	説

松宮石丈還暦記念
嗣子 征夫編
旅記

第一章	信教自由の夜明	一頁
第二章	第二次御巡教と員員整理	八頁
第三章	別院本堂の完成と第2次御巡教	十五頁
第四章	水かきの跡	二十九頁
第五章	別院本堂の完成と第2次御巡教	三十頁
第六章	再渡伯(即熱開坐)の御巡教と開教方針	三十四頁
第七章	結	四十七頁

松宮石丈の書籍
松宮石丈の著書

松宮石丈を語る

松宮石丈の著書



目次

次



# 海外開教史 資料集成 南米編 全三巻

収録内容	
卷数	解題
中西直樹（筑紫女学園大学准教授） 第三巻の巻頭に収録	解題
二〇〇九年一〇月 ISBN978-4-8350-5822-1	刊行
全三巻◎本体単価格六〇、〇〇〇円+税	定価
大村英昭・坂口満宏	推薦

内容案内送呈

既刊書のご案内

解題——中西直樹著

真宗大谷派南米教団編『南米開教35年誌』「一九八七年」

大谷智子著『再びブラジルを訪れて』「一九六七年」

田中日晨著『ブラジルを巡教して』「一九六五年」

『開教』一九八三年秋季号・第八号（南米開教区開教35周年記念特集号・抄録）「一九八三年」

長谷川良信著『ブラジルの仏教を語る』（『世界仏教』昭和三五年二月号）「一九六〇年」

「南米仏教浄土宗別院日伯寺建設寄附芳名簿」「一九五三年」原田亮裕編『高階瓈仙禪師伝』（抄録）「一九七四年」

# 仏教海外開教史 資料集成

解題＝中西直樹

パワイ編 全六巻 「編集復刻版」

A5判・上製・総三、六四二頁

第一回配本 二〇〇七年十月 ISBN978-4-8350-5806-1

第二回配本 二〇〇八年一月 ISBN978-4-8350-5810-8

本体単価格 一二〇、〇〇〇円+税

北米編 全六巻 「編集復刻版」

A5判・上製・総三、三四〇頁

第一回配本 二〇〇八年九月 ISBN978-4-8350-5814-6

第二回配本 二〇〇九年一月 ISBN978-4-8350-5818-4

本体単価格 一二〇、〇〇〇円+税

\*表示価格はすべて税別

不二出版

▶〒113-0023 ▶東京都文京区向丘 1-2-12  
 ▶TEL 03-3812-4433 ▶FAX 03-3812-4464  
 ▶振替 00160-2-94084

第一巻
井上円了著『南米視察談』（明治四十五年度 布教研究会講義録）所収）「一九一二年」
松宮石丈著『うかつに行けない南米』「一九二七年」
松宮征夫編『松宮石丈還暦記念落穂籠』（抄録）「一九三四年」
平野植民地日本人会編『平野廿五周年史』「一九四一年」
工藤義修著『南米開教史話——南十字星下の思い出』「一九八七年」
渡辺静波著『憶若』（私家本）「一九八四年」
南米仏教研究会編『伯国仏教読本』（抄録）「一九五六六年」